

関
西

関西支社
〒540-0026 大阪市中央区内
内本町1-3-5 クロス・ロード
内本町
電話 06-6944-0191
FAX 06-6944-0197
建設事業に関する行事
・催しなどは編集部まで
お問い合わせ下さい。



災地から学ぶ
防災講演会

名波河川部長



冒頭、主催者を代表して同
じで、最初に竹林正三山口大時
間学研究所客員教授が「大和
川・風土が語る災害の宿命」
と題してそれぞれ講演し
た。行政、コンサルタント、
ゼネコンなどの関係者約10
0人が聴講した。

た。

続いて、竹林客員教授は
「大阪はわたしたちの故
郷だ」と話し、「日本文明は
大和川のたまものである」と
持論を展開。また、高橋名譽
教授は新たな国づくりの哲学
と大方針や河川技術者の新た
な役割などを説明した。
「1982年大和川流域
水害記録写真」のパネル展示
も合わせて行った。

災害対応力向上を 歴史に学ぶ防災講演会

整備局

近畿地方整備局は8日、大
阪市中央区の国民会館で「歴
史に学ぶ防災、風土からみる
災害の足跡」をテーマに講演
会を開いた(写真)。2部構成

で、最初に竹林正三山口大時
間学研究所客員教授が「大和
川・風土が語る災害の宿命」
と題してそれぞれ講演し
た。行政、コンサルタント、
ゼネコンなどの関係者約10
0人が聴講した。

続いて高橋名譽教授が
「川と国土の危機 水害と社
会」と題してそれぞれ講演し
た。行政、コンサルタント、
ゼネコンなどの関係者約10
0人が聴講した。

と期待している。災害から
命を守り、被害を軽減する
に多くの示唆をいただけるこ
とにさらなる技術力、災害対
応力の向上が必要だ。災害対
策を考える有意義な機会にな
ることを願っている」と述べ
た。

局の名波義昭河川部長があ
さうし、「昨年の大災害を受
けて河川の災害対策のあり方
が見直されている。災害の本
質を見極める重要性が増して
いる。本日の講演を通じて、
インフラの整備にかかる者
にはさらなる技術力、災害対
応力の向上が必要だ。災害対
策を考える有意義な機会にな
ることを願っている」と述べ
た。

建設通信新聞

発行所 日刊建設通信新聞社
〒101-0054
東京都千代田区神田錦町3-13-7
電話(03) 3259-8711
FAX(03) 3259-8730
振替号金口座00190-2-97953
©日刊建設通信新聞社 2012